

企業間交流・産学連携委員会 議事録

1. 日 時	令和5年5月18日(木) 14時～15時30分
2. 場 所	春日井商工会議所 4階 会議室 EF
3. 出席者	委員長 1名
	副委員長 1名
	委 員 13名
	副会頭 1名
	オブザーバー 2名
	事務局 3名
	<hr/>
	合 計 21名

4. 協議事項

- 1) 企業間交流・産学連携委員会の所管事項について
- 2) 情報・意見交換
・委員会事業全般について

5. 議 事

事務局 白木 芳洋

定刻に至り、開会を宣し三尾委員長に挨拶を求める。

委員長 三尾 友貴美

挨拶を述べる。

事務局 白木 芳洋

第20期第1回目の委員会のため、順番に自己紹介を求める。

委員会規定により、議長に三尾委員長を指名し、議長就任を要請する。

(委員長 議長に就任)

議 長 三尾 友貴美

議事に入り、協議事項1. 企業間交流・産学連携委員会の所管事項について事務局に説明を求める。

事務局 森 千鶴

資料 2～4 頁に基づき、令和 4 年度事業実績・令和 5 年事業計画及び実施状況について報告。

各事業に参加した委員に、意見を求める。

オブザーバー 岩瀬 由典

いつでも行政マッチング商談会について、今年度は、市からの困りごと等のニーズが出次第、速やかに商談に入れるように同時期に説明会を開催(7/25)する。

委員 菱川 一馬

中部大学での協働授業について、思いもよらない学生ならではのアイデアや提案があり、参考になった。また、企業の話聞くことで就職活動のイメージをつかんでいただけたと思う。

副委員長 岡本 博貴

同じく協働授業に参加した結果、栄養管理士の学生 2 名と採用面接をすることにつながった。大学の新卒を採用したことがないため、良い機会をいただいた。

議長 三尾 友貴美

関西ものづくりワールドに共同出展したが、本来 1 社約 100 万円の出展料がかかるが、無料で出展することができ、売上にもつながる結果となった。各展示会に出展した企業に、いくら利益が出たのか聞いてみたい。今後メッセナゴヤへの共同出展を控えており、ものづくり企業だけではなく商業・産業併せて出展可能なため、ぜひ出展いただきたいと思う。

所管事項について、委員に意見を求める。

委員 青山 博徳

訪問販売を行っている事業所から、業態転換の相談を受けた際、会議所に相談してみてもと提案した。経営相談やビジネスマッチング等の支援を行っていただき、小さいお店でも販路を広げたいと思っているところにも支援が届くような委員会でありたいと思う。

議 長 三尾 友貴美

続いて、協議事項2. 情報・意見交換について、「企業間交流事業」と「産学連携事業」に分かれて行いたいと思う。

(2 グループに分かれて情報・意見交換)

各グループから出た主な意見

〔企業間交流事業について〕

- ・ビジネスフォーラムが一番成果があったので、またやって欲しい。小牧とコラボした尾張展示会の開催。
- ・東京に生産拠点があるため、春日井市内で取引先を探したことがない。市内企業で請けてくれるところがあれば良い。
- ・県外の取引先が増えるのは困るが、販路開拓に興味はある。
- ・展示会に出展する際は、目立つような大きなくじ引きを用意している。
- ・市の助成金は盛りだくさんで、雇用調整助成金の上乗せは非常に良かった。

〔産学連携事業について〕

- ・中部大学の協働授業は、素晴らしい取り組みだと思う。定例でやり続けていって良いと思う。
- ・学生から事前に聞きたいことを募った方が、企業としても話しやすいし、学生も興味を持ってくれると思う。
- ・学生のリアクションが薄いと感じた。また、課題に対して、答えを出すのが大変そうであった。
- ・やる気のある学生と企業が連携をして、育成支援（スタートアップやベンチャー等の起業支援）ができたらと思う。

事務局 白木 芳洋

以上で情報・意見交換を終了し、副会頭より挨拶を求める。

副会頭 岡部 清次郎

会議所を上手く利用していただき、活用事例を広めていただければと思う。また、行政も地元企業のことを一生懸命考えてくれるため、遠慮なく相談していただければ良い。

事務局 白木 芳洋

副委員長より締めの挨拶を求める。

副委員長 岡本 博貴

次回委員会まで間が空いてしまうため、もう少し会う機会を増やす等検討したいと思う。また反省点として、各グループから出た意見を、皆で情報共有する時間があると良かった。次回は、しっかりと共有する場を設けたいと思う。

事務局 白木 芳洋

本日の企業間交流・産学連携委員会の閉会を宣す。

時に15時30分